

JISA 人材フォーラム開催！

『子育てしながら仕事を続けるために～“イクボス”が未来を切り拓く鍵となる～』

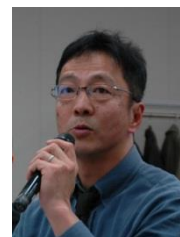
平成 27 年 2 月 13 日(金)、東京・東銀座の JJK 会館 2 階ホールにて、JISA 人材フォーラム「子育てしながら仕事を続けるために～“イクボス”が未来を切り拓く鍵となる～」が、ビジネス基盤強化委員会のダイバーシティ部会・人材育成 WG（座長：小野田祐子 TIS(株)



執行役員)により開催された。参加者は 108 名。

開会にあたり、小野田座長より「今までダイバーシティ部会は女性の活躍拡大に向けた活動を行ってきたが、今回はイクボスに注目した。身近な事例に加えて、様々な人が自己のキャリアを伸ばしていける環境について考えて頂きたい」との挨拶があった。

その後、基調講演及び事例紹介によりワーキングマザーを取り巻く状況について問題提起が行われた。最初は、NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事 兼 NPO 法人コヂカラ・ニッポン代表である川島高之氏より「“イクボス”が未来を切り拓く鍵となる」として、“イクボス”としての自身の経験から課題やイクボスの必要性等について基調講演が行われた。また、ファザーリング・ジャパンがバックアップする、IT 業界で働く親が情報交換の場所として集う「IT パパネットワーク（仮称）」についての紹介も行われ、近日中に名称を正式決定するとの報告があった。



次いで事例紹介として、角田仁美氏((株)NTT データ)が「ワーキングママの悩みと対応策（未就学編）」として、小さい子どもを持つワーキングマザーの悩みや対策、キャリアを積むために意識していること等を訴えた。

続いて、山本千絵氏(TIS(株))が「ワーキングママの悩みと対応策（小学生編）」として、子どもが成長するにつれて悩みの内容が変わること、仕事方法の見直しや時短勤務の活用、小 1 の壁等について自身の経験を交えた講演を行った。



休憩をはさみ、田口潤氏((株)インプレス)のリードにより、「コミュニケーションの重要性～あなたの職場では本音で話ができますか？～」と題し、「女性が仕事を続けることを諦めてしまう理由とは」、「2030 の実現

に向けて実践すべきこととは」を論点にパネルディスカッションが行われた。ディスカッションには、上司の立場として藤掛麻子氏（(株)NTT データ）、植村暢之氏（富士通エフ・アイ・ピー(株)）、人事の立場として山谷明子氏（コムチュア(株)）、山本辰也氏（アイエックス・ナレッジ(株)）、両立者の立場として村井睦子氏（(株)日立ソリューションズ）、湯川史子氏（(株)シーエーシー）の6名が参加した。



議論では、社会的にも女性活躍に向けての意識は改善されつつあるが、現実にも目を向けてみると制度の整備等だけでは解決できない状況があるという訴えを受け、会場とパネリスト、講演者より様々な意見が出された。また、更なる女性の活躍を推進するためには「経営者の意識改革」「女性自身の意識改革」「国としての環境整備」だけでなく、「直属の上司と夫の理解」が必要であり、特に社内や家庭内では報告・連絡・相談といった基本的なコミュニケーションを忘れずに取ることで、双方の意識のすれ違いをなくすることができることを訴えた。

なお、フォーラムの詳細については JISA 会報No.117（4 月発行）で紹介する予定である。

参考：[イクボスとは（日経DUAL）](#)
[NPO 法人ファザーリング・ジャパン](#)

（増田）